


ポータブルパワーソース

取扱説明書 (保証書付)

PS-16000RP



 株式会社 日立オートパーツ&サービス

このたびは、ポータブルパワーソースPS-16000RPをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の十分な活用と安全なご使用のために、取扱説明書はいつも手元におき、よくお読みいただいたうえでご使用ください。

もくじ



安全上のご注意	1~5
使用上のご注意	6
構成部品一覧表	7
本体・付属品各部の名称と働き	8~11
仕様	12
使用方法	
1. ジャンプスタート	13~15
2. バックアップ電源	16~17
3. 直流機器のサブ電源	18
4. USB出力	19
5. LEDライト	19
保守管理	
1. 本体の充電	20
2. 保管方法	21
3. OBD II ケーブル、シガー充電器のヒューズ交換	21
故障かな?という場合に	22
保証規定	23
保証書	24
お問い合わせ先	25

安全上のご注意(必ずお守りください。)




取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の絵表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)

	この絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。
	この絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。
	この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意(必ずお守りください。)

警告

小さいお子様の手の届かない場所で使用、保管する 事故やけが、感電の原因となります。	
使用後は必ず、ケーブルを抜いて保管する 事故やけが、感電の原因となります。	
本体端子部のダストカバーを閉じ、付属のケースに入れて保管する 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
本製品を持ち運ぶときや保管時は、本体のダストカバーをしっかりと閉じ、端子部を保護する(ダストカバーが開いた状態で保管しない) 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
本体から電解液が漏出している場合や異臭がする時には直ちに火気より遠ざけて使用を中止する 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
本体から電解液が漏出している場合は、直接触れない 万一皮膚に付着または目に入った時は、こすらずに水道水などのきれいな水で充分洗った後、直ちに医師の診察を受ける 失明や皮膚に障害を起こす原因となります。	
エンジン始動後やエンジン始動に失敗した場合は、すみやかにジャンプスターターケーブルを取り外す 事故やけが、感電の原因となります。	
USB出力による充電終了後、本体と被充電機器との接続をすみやかに解除する 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
ACプラグやUSBコネクタは根元まで確実に差し込む ホコリによる火災や感電の原因になります。	
本体を充電する際は、当社指定条件の充電器を使用し、当社指定の充電条件を守る 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
本体の充電完了後は、すみやかに充電器を外す 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
本体の充電は温度が0～40℃の環境で行う 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
本体の充電時間を過ぎても充電が完了しない場合は充電を中止する 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
本製品に異常を感じたら、直ちに使用を中止する 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	

安全上のご注意(必ずお守りください。)

警告

万が一、本製品が発火した場合は消火器を使って消火する 発火時に水をかけると感電の原因となります。	
手やケーブルなどがぬれた状態で本製品を使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
風呂場やプール、海など水没の危険がある場所では使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
ガソリン・オイルなど可燃物の周辺や法令で第一類・第二類危険箇所 指定されている場所では使用しない 火災や引火・爆発の原因となります。	
可燃物や重いものを乗せたり、毛布や座布団で覆ったり包んだりしない 発熱、発火、破裂、液もれの原因になります。	
本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器などに使用しない 事故、火災、ケガの原因となります。	
本製品を車両バッテリーに接続した状態で車を走行させない 事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。	
暗い場所で作業を行わない 事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。	
ぬらしたりしない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
故障のまま使用しない スイッチが操作できないなどの故障の状態で使用しないでください。 すぐに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。 そのまま使用すると本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
端子類を指で触れたり異物を入れない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
直射日光が当たる場所や、夏季の車両内など気温45℃を超える環境および湿度 70%を超える環境で保管しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
分解や改造はしない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
ケーブルの被覆が破れた状態で使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
加熱したり、火や水の中に入れない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	

安全上のご注意(必ずお守りください。)

警告

ストーブなど熱源に近づけない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
付属品のコード類を束ねたまま使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
付属品以外のケーブル・アダプターを使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
本製品付属品を本製品以外に使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
本体・付属ケーブル・付属充電器を落下させたり、衝撃を与えない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
使用時および充電時に、たばこなどの火気を近づけない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
使用時および充電時、付近に可燃物を置かない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
可燃性の気体や液体のある場所で使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
端子の両極性を金属で接続しない また、ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
本製品の出力端子同士や本製品の出力端子と他製品の出力端子を接続しない 感電、火災、発熱、発火、破裂、ケガの原因となります。	
電子レンジや高圧容器に入れない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
ペットなどの動物に本製品を触れさせない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
ジャンプスターターケーブルの赤と黒のクリップを同一端子への接続、 逆接続および車両との接触をさせない けがや事故、火災、車両故障および本体故障の原因となります。	
本製品を接続した状態で、3秒以上クランキングを行わない 一度この条件でエンジン始動に失敗した場合は、使用を中止してください。 エンジン始動に必要な電流が製品の放電能力を超過していますので、そのままクランキング動作を行うと、発火、破裂、漏液の原因になります。	
連続してジャンプスタートを行わない 連続してジャンプスタートを行う場合は、10分以上間隔をあけて使用してください。 間隔をあけずにジャンプスタートを行うと、発火、破裂、漏液の原因になります。	

安全上のご注意(必ずお守りください。)

警告

<p>車両に対して本製品を単体で接続した状態でエンジンを始動しない 本製品は車両バッテリーの応急補助製品であり、車両バッテリーの代わりとしては使用できません。</p>	
<p>ジャンプスタート以外でジャンプスターターケーブルを本体に接続しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。</p>	
<p>24V車のジャンプスタートを行わない 本製品は12V車専用です。 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。</p>	
<p>極度に劣化または深放電しているバッテリーのジャンプスタートをしない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。</p>	
<p>満充電の状態で充電をしない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。</p>	
<p>AC充電器は指定された電源電圧以外の電圧で使用しない AC充電器の指定電源電圧は交流100～240Vです。直流電源には接続しないでください。 感電、火災、発熱、発火、破裂、ケガの原因となります。</p>	
<p>充電器を屋外で使用しない 感電、火災、ケガの原因となります。</p>	
<p>LEDライトを人の目に向けて照射しない 失明の原因になります。</p>	
<p>12V車両以外でシガー充電器による充電を行わない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。</p>	
<p>本体の充電をしながら本製品を使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。</p>	
<p>本製品を取扱説明書記載の使用方法以外の使用をしない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。</p>	
<p>ジャンプスタート中に他の出力を使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。</p>	
<p>本体や付属ケーブルがエンジンなどに巻き込まれないように注意する 本体・車両故障、けがの原因になります。</p>	

本製品の取り扱いを誤ったことで、車両や車載品、使用する機器などの事故や破損、損害が発生した場合、弊社では一切の責任を負いかねます。また保証の対象外となります。

使用上のご注意

- 本体は防塵・防雨仕様ですが、ダストカバーが開いた状態では仕様を充たしません。また、本体が濡れた場合はふき取ってから使用してください。
- ※ジャンプスターターケーブルは防塵・防雨仕様ではありません。水に濡らさないでください。
- アルコールを含む液体で本製品をふかないでください。変色やひび割れの原因となります。
- 高い電磁環境に近づけないでください。本体の損傷や動作不良の原因になります。
- 長期間使用しない場合は、3ヶ月ごとに充電を行ってください。
- 使用する端子以外のダストカバーは閉じてください。
- ジャンプスターターケーブルの接続は、クリップ(赤)、クリップ(黒)の順番で接続してください。解除はクリップ(黒)、クリップ(赤)の順番で行ってください。
- 本製品を接続した状態で、3秒以上クランキングを行わないでください。
- ジャンプスタートに失敗した場合は、ジャンプスタートを中止してください。本製品の出力電流仕様を超えているか、バッテリー上がり以外の原因が考えられます。そのままジャンプスタートを行った場合、本体故障の原因になります。
- 連続してジャンプスタートを行う場合は、10分以上間隔をあけてください。
- 本体の出力と入力を接続しないでください。発熱、液もれ、故障の原因となります。
- 本体内蔵バッテリーは使用方法や保管状態によっては、著しく劣化する場合があります。内蔵バッテリーの劣化による不具合は、保障の対象外となります。
- 対応車であっても、車両の状態、車両の仕様、環境によってはジャンプスタートできない場合があります。
- 手動で電源をONにした場合は、自動で電源OFFになりません。未使用時は電源キーを押して手動で電源をOFFにしてください。

取り扱いについて

- 衝撃を与えないでください。本製品を落下、たたくなどして衝撃を与えると故障の原因となります。
- ケーブルを無理に引っ張らないでください。ジャンプスターターケーブルなどのケーブル類を外す際など、ケーブルを無理に引っ張ると断線など故障の原因となります。

保管場所について

- 下記の場所には保管しないでください。
 - ・ホコリの多い場所
 - ・水のかかるところ
 - ・強い衝撃が加わるところ
 - ・気温-10℃以下45℃以上、湿度70%以上のところ
 - ・結露のあるところ
 - ・直射日光のあたるところ

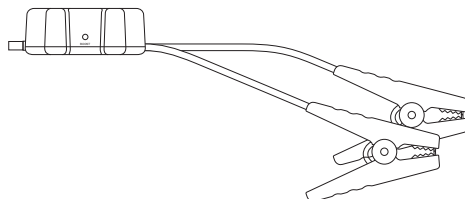
構成部品一覧表 (ご使用前にご確認ください。)

本製品には、下記のものが同梱されています。ご使用前にご確認ください。
万一、不足している場合や破損している場合は、すぐに販売店にご連絡ください。

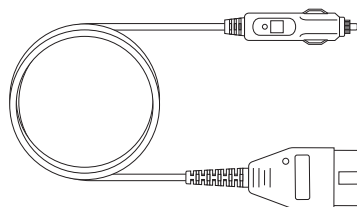
① パワースource本体…1台



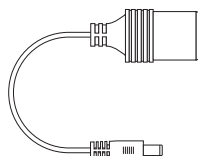
② ジャンプスターターケーブル…1本



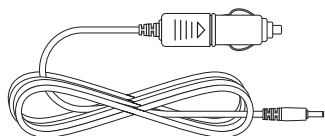
③ OBD II ケーブル…1本



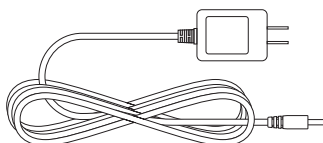
④ シガーソケット…1本



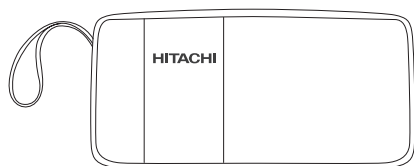
⑤ シガー充電器…1本



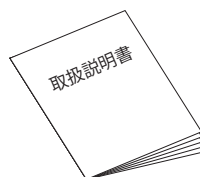
⑥ AC充電器…1本



⑦ キャリングケース…1個

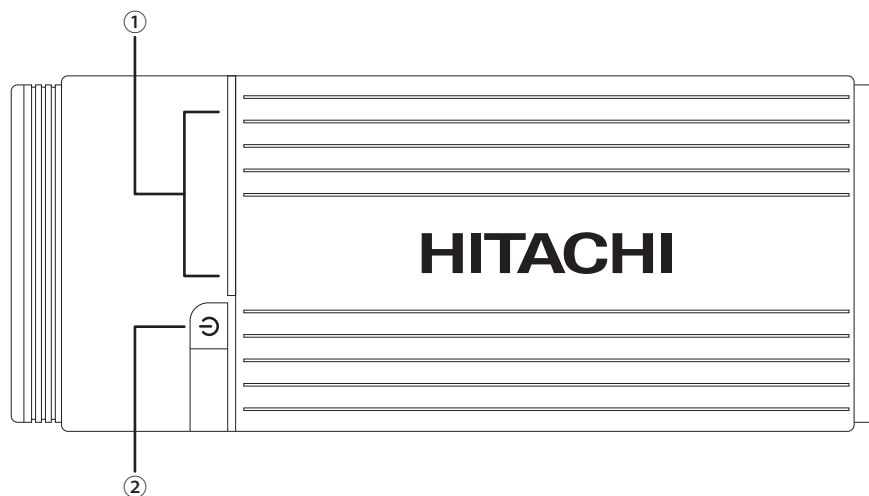


⑧ 取扱説明書 (保証書付) …1冊



本体・付属品各部の名称と働き

本体正面



①残量インジケータ :

- 5個のLEDの点灯状態で、本体内蔵バッテリーの残量を表示します。

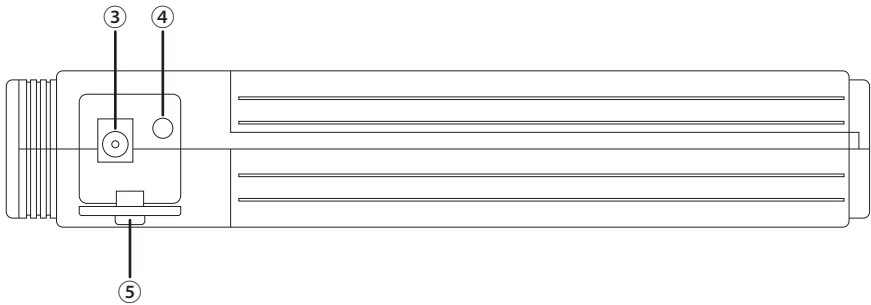
■ ■ ■ ■ ■	全点灯 (100%~81%)
□ ■ ■ ■ ■	4つ点灯 (80%~61%)
□ □ ■ ■ ■	3つ点灯 (60%~41%)
□ □ □ ■ ■	2つ点灯 (40%~21%)
□ □ □ □ ■	1つ点灯 (20%~11%)
□ □ □ □ ▽ ▽	1つ点滅 (10%~1%)
□ □ □ □ □	全消灯 (0%)

②電源キー (兼LEDライトスイッチ) :

- このキーを押すと残量インジケータが点灯します。
- このキーを押すとUSB5VおよびDC12Vが出力します。
- このキーを長押しするとLEDライトが点灯します。

本体・付属品各部の名称と働き

本体下側面



③DC12V出力端子 (DC2.1タイプ) (ダストカバー内)：

- この端子で車両メモリーのバックアップ電源や、直流機器のサブ電源として使用します。

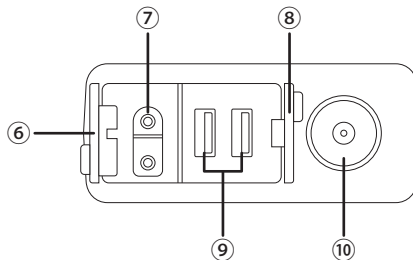
④充電器接続端子 (DC15V入力) (ダストカバー内)：

- この端子と車両の12Vシガーソケットを付属のシガー充電器で接続、またはこの端子と家庭用コンセントをAC充電器で接続することで、本体内蔵バッテリーの充電を行います。

⑤⑥⑧ダストカバー：

- 各端子使用時に、このカバーを開きます。
- 持ち運ぶときや保管時は、このカバーが端子部を保護しますので、必ず閉じてください。

本体左側面



⑦ジャンプスタート出力端子 (ダストカバー内)：

- ジャンプスターターケーブルのプラグを差し込んで車両のジャンプスタートを行います。

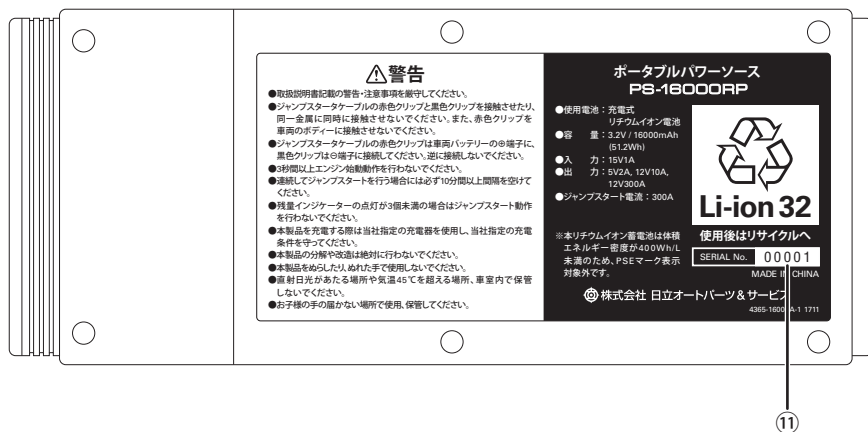
⑨USB出力端子 (ダストカバー内)：

- USB Aオスプラグを差し込んで、USB機器の電源として動作します。

⑩LEDライト

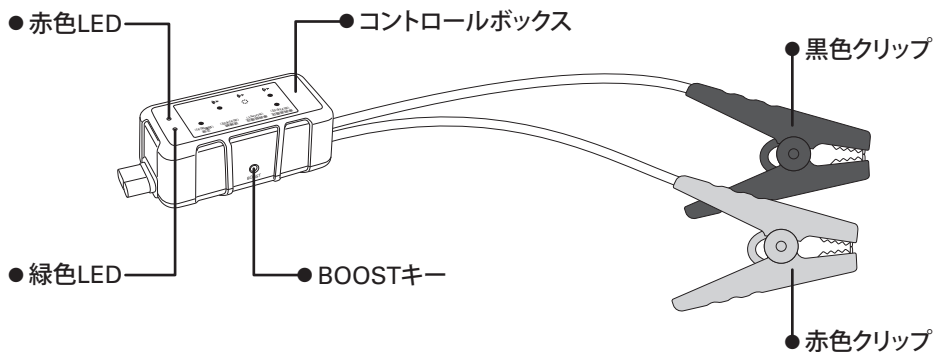
本体・付属品各部の名称と働き

本体背面



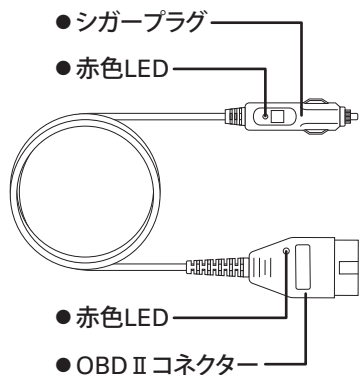
⑪ シリアルナンバー

■ ジャンプスターターケーブル

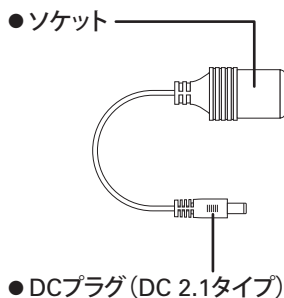


本体・付属品各部の名称と働き

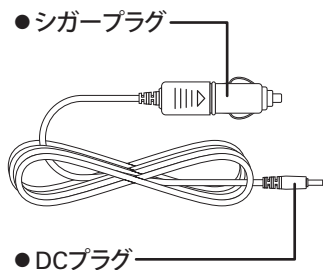
■OBD II ケーブル



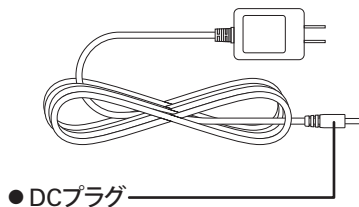
■シガーソケット



■シガー充電器



■AC充電器



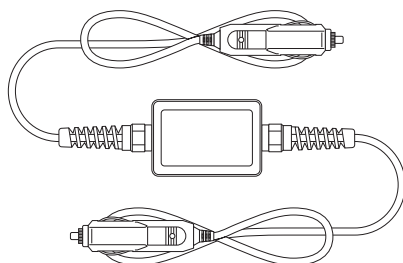
別売付属品

■シガーバックアップケーブル

(型式:PS16CBU)

バッテリー交換時、本体と車両のシガーソケットを接続して車両メモリーをバックアップできます。

OBD II コネクターの無い車両や、OBD II コネクターから電源供給できない車両にご使用ください。



仕様

1. バッテリータイプ	リン酸鉄リチウムイオン電池
2. バッテリー容量	16000mAh (3.2V)
3. 最大電流	ジャンプスタート出力：600A (peak) USB出力：2A × 2系統 DC12V出力：10A
4. 充電入力	DC15V/1A
5. ジャンプスタート電流	300A
6. ジャンプスタート対応車 (目安)	4000cc以下の12V車 (ガソリン) 3000cc以下の12V車 (ディーゼル)
7. コネクター形状	USB出力端子 × 2：USBタイプA メス DC12V出力端子：DC2.1メス ジャンプスタート出力端子：独自コネクター 充電入力端子：DC1.3メス
8. 本体充電方法	専用充電器 (シガー充電器 / AC充電器)
9. 本体充電時間	約6時間 (AC充電器の場合)
10. 残量インジケーター	5個のLEDにて本体内蔵バッテリー残量を7段階表示
11. LEDライト機能	高輝度LEDによる、3モード (点灯 / 点滅 / SOS信号) の切り替えが可能
12. 保護回路	ジャンプスタート：短絡 / 逆接続 / 過放電 / 過電流 / 逆電流 / 低電圧 / 高電圧 / 温度 サージプロテクト その他の出力：過電流 / 過放電 本体入力：過充電
13. サイクル寿命	約2,000回 ※使用方法や保管状態によって大きく変化します。充放電サイクル回数を保障するものではありません。
14. 使用温度	環境：-10~45℃ / 本体：0~45℃
15. 充電時温度	0~40℃
16. 保存温湿度	-10~45℃ 70%rh以下 (ただし結露のないこと)
17. 防塵防滴性能	IP63
18. 寸法	約224mm (H) × 約94mm (W) × 約42mm (D)
19. 質量	約930g
20. 付属品	ジャンプスターターケーブル、OBD II ケーブル、シガーソケット、シガー充電器、AC充電器、キャリングケース、取扱説明書 (保証書付)
21. 別売付属品	シガーバックアップケーブル (PS16CBU)

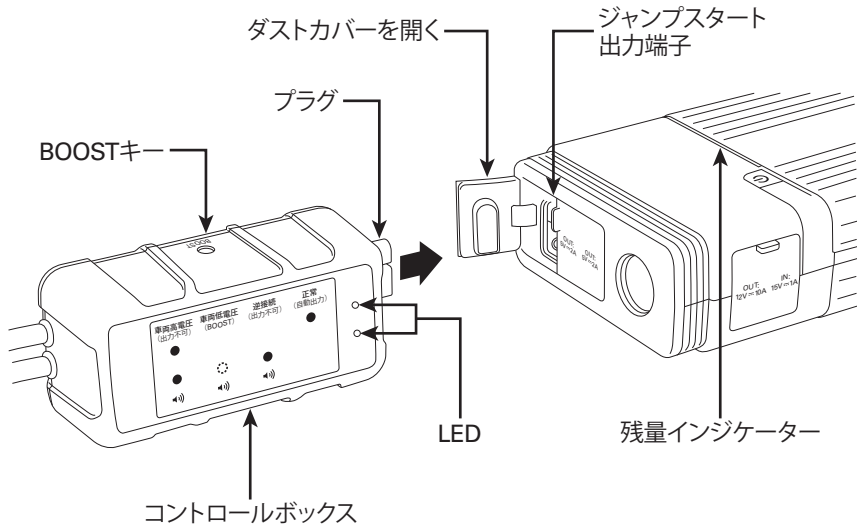
使用方法

1. ジャンプスタート

⚠ 警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

- ① 本体のダストカバーを開いて、ジャンプスターターケーブルのプラグを本体左側面のジャンプスタート出力端子に接続します。
残量インジケーターが3個以上(バッテリー残量41%以上)であることを確認します。
コントロールボックスのLEDが消灯していることを確認します。



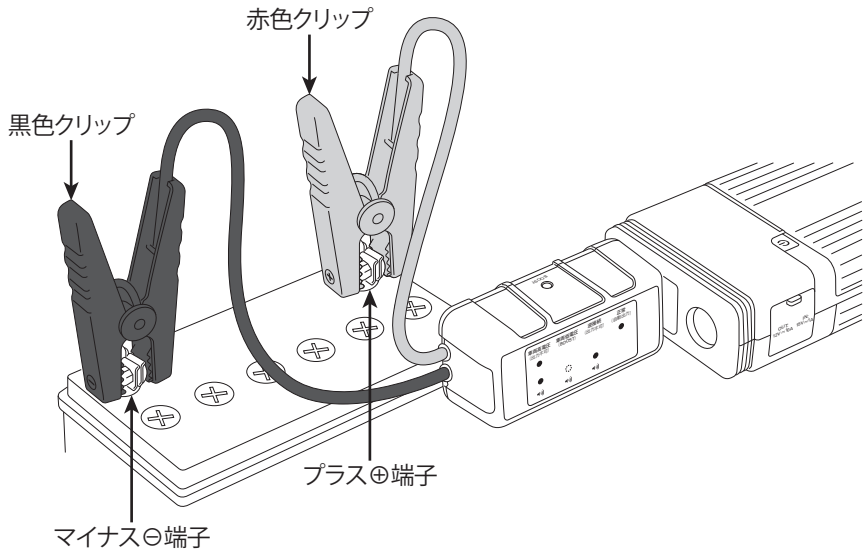
⚠ 警告/注意

ジャンプスタートの際、ジャンプスターターケーブルのプラグを本体に接続した段階(車両とは未接続の状態)で、コントロールボックスのLEDが点灯し続けている場合は故障しています。その場合は、直ちに使用をやめ、ジャンプスターターケーブルと本体の接続を解除し、下記カスタマーサポートセンターにご連絡ください。
(カスタマーサポートセンター TEL : 03-3527-6323)

使用方法

②ジャンプスターターケーブルのクリップを車両のバッテリー端子に接続します。初めに赤色クリップを車両バッテリーのプラス \oplus 端子に、その後黒色クリップをマイナス \ominus 端子に接続します。

※車両のバッテリー端子およびクリップの金具に汚れや錆が付着している場合は、汚れや錆を取り除いてください。



③コントロールボックスの状態により、下記の操作に従ってください。

●緑色LED点灯：接続が正しくされています。エンジン始動をしてください。

※エンジン始動時は、本体の負荷を抑えるために車両のヘッドライトやエアコンなどの電装品をOFFにしてください。

※対応車両であってもバッテリー状態や環境により正常にジャンプスタートできない場合があります。

●赤色LED点灯&ブザー音：接続が間違っています。②からやり直してください。

●赤色LED点滅&ブザー音：車両バッテリー電圧が低いです。BOOSTキーを押して、緑色LEDが点灯したことを確認後、30秒以内にエンジンを始動してください。

※BOOSTキーは強制的にクリップ部分と本体を導通させます。コントロールボックスの状態検知機能を無効化するため、短絡や逆接続を絶対に行わないでください。

※BOOSTキー押下後は30秒で出力が停止します。

●緑色&赤色LED同時点灯&ブザー音：車両バッテリー電圧が本体より高い状態です。ジャンプスタートはできません。

●全LED消灯&ブザー音なし：車両バッテリーが極端に劣化しております。ジャンプスタートはできません。

使用方法

④ジャンプスターターケーブルのプラグを本体から外します。

※本体から外した際に一瞬ブザー音またはLEDが点灯することがありますが、異常ではありません。

⑤車両バッテリーの端子から黒色クリップを外し、その後に赤色クリップを外します。

※ジャンプスタート動作を行うと、一時的な電圧降下による過放電保護が働き、本体の電源が入らなくなることがあります。その場合は、一度充電動作を行うことにより、過放電保護が解除されます。

⑥使用後は、本体のダストカバーをしっかりと閉じてください。

ジャンプスタート時のアドバイス

- 気温の低い所で本製品を保管すると、本体の温度が低下してジャンプスタートの性能も低下します。使用する直前まで室温での保管を推奨いたします。
- ジャンプスタートを行う場合は、可能な限り満充電状態でジャンプスタートを行ってください。

■コントロールボックス動作一覧

	検知状態	警告(LED)	作動	出力
正常	車両バッテリー電圧が5~13.6V未満	●緑 点灯	リレー作動	自動出力
異常な状態	プラスマイナス逆接続	●赤 点灯	ブザー音	出力不可
	車両バッテリー電圧が極端に低い(1.0V未満)	—	—	出力不可
	車両バッテリー電圧が低い(1.0~5.0V)	⦿赤 点滅	ブザー音	BOOST
	車両バッテリー電圧が高い(本体電池電圧以上)	●緑 点灯	ブザー音	出力不可
	車両バッテリー電圧が高い(13.6V以上)	●赤 点灯	ブザー音	出力不可

■コントロールボックス



※本製品は上記の検知状態にかかわらず、内蔵電池の電圧および温度を監視しており、異常時は出力禁止制御を行います。

■保護機能

保護内容	LED	ブザー音
短絡保護	緑色点滅	鳴らない
過放電保護	消灯	鳴る
逆電流保護	赤色/緑色点灯	鳴る
過電流保護	緑色点滅	鳴らない
温度保護	消灯	鳴らない

使用方法

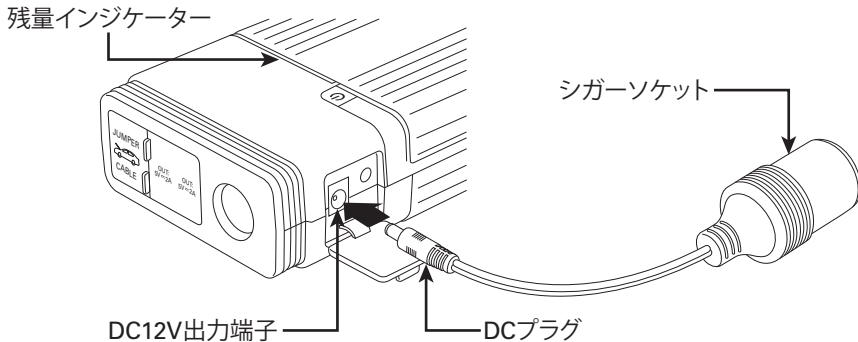
2. バックアップ電源

⚠ 警告/注意

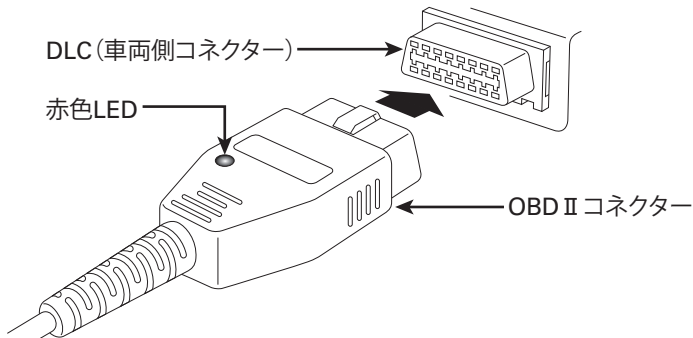
P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

バッテリー交換時、OBD II ケーブルで本体と車両のDLC (車両側コネクタ) を接続することで、車両メモリーをバックアップできます。(12V車両)

- ① 車両のキーを抜き、5分以上放置します。
- ② 車両のライト類(室内灯含む)を全てOFFにします。
- ③ 電源キーを押して残量インジケータが点灯することを確認します。DC12V出力がONとなります。
- ④ 本体のダストカバーを開き、シガーソケットのDCプラグをDC12V出力端子に差し込みます。



- ⑤ OBD II ケーブルのOBD II コネクタを車両のDLC (車両側コネクタ) にしっかりと差し込みます。

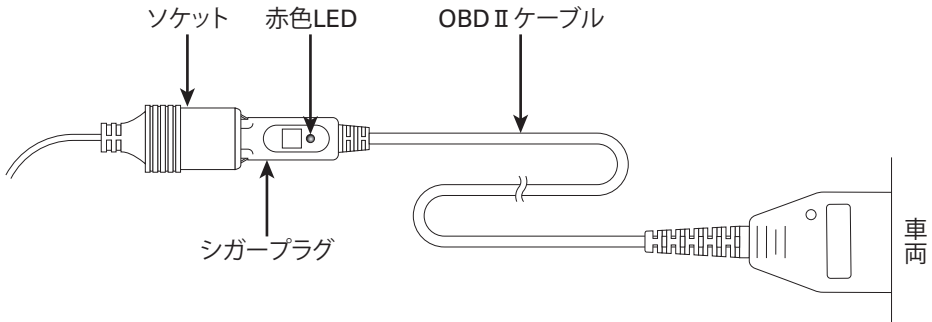


- ⑥ OBD II コネクタの赤色LEDが点灯したことを確認します。赤色LEDが消灯した状態ではバックアップ電源として機能しません。
- ※ OBD II コネクタがしっかりと差し込まれていても赤色LEDが点灯しない場合はバックアップできません。車両側の点検を行ってください。

使用方法

⑦シガーソケットのソケットにOBD II ケーブルのシガープラグを差し込みます。

※接続部が抜けないように安定した所に置いてください。



⑧シガープラグの赤色LEDが点灯したことを確認します。赤色LEDが消灯した状態ではバックアップ電源として機能しません。

※赤色LEDが点灯しない場合は、シガーソケットとOBD II ケーブルの接続および本体バッテリーの残量を確認してください。問題が無い場合はシガープラグ内部のヒューズが切れている可能性があります。

⑨バッテリー交換などの作業を行います。終了しましたら電源キーを押し、残量インジケータの消灯 (DC12V出力OFF)を確認後、本体と車両の接続を解除して、本体のダストカバーをしっかりと閉じてください。

※バックアップ中にブレーキを踏んだり、ライトや室内灯を点灯したり、キーを回したりしないでください。OBD II ケーブル内のヒューズが切れることがあります。

※車両バッテリーが過放電している場合、OBD II ケーブル内のヒューズが切れることがあります。

※OBD II ケーブルは250V 2Aヒューズが内蔵されています。ヒューズ切れの場合は、同仕様のヒューズと交換してください。仕様の異なるヒューズの使用は絶対にしないでください。

(P21参照)

※一部の車両ではバックアップ動作を行うと過電流によりブレーカーが作動し、車両メモリーが消去する場合があります。整備要領書などでご確認ください。

※本体と車両を接続したままエンジンを始動しないでください。

※車両によってはDLC(車両側コネクター)から電源を供給できず、バックアップ動作を行うことができない場合があります。

※車両にシガーソケットがある場合は、別売のシガーバックアップケーブルを使用することでバックアップが可能です。

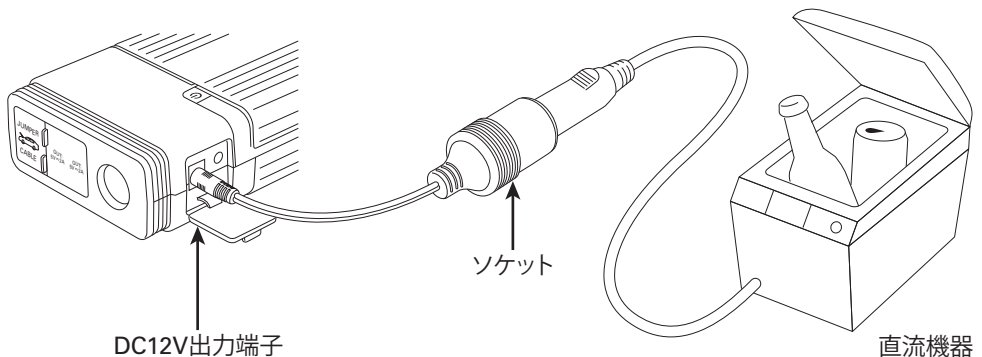
使用方法

3. 直流機器のサブ電源

警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

- ①電源キーを押して残量インジケータが点灯することを確認します。DC12V出力がONとなります。
- ②直流機器とシガーソケットを接続します。
※接続部が抜けないように安定した所に置いてください。
- ③本体のダストカバーを開き、シガーソケットのDCプラグをDC12V出力端子に差し込むとサブ電源として機能します。



- ④使用後は電源キーを押して残量インジケータの消灯(DC12V出力OFF)を確認後、本体と直流機器の接続を解除して、本体のダストカバーをしっかりと閉じてください。
※定格を超えた機器に接続した場合や出力を短絡した場合は、本体の過電流保護が働き使用できなくなります。その場合は接続を解除後、一度電源キーを押して本体の電源をOFFにした後、再び電源キーを押すことにより出力されます。
※本体電池残量が0%の状態で使用し続けた場合は、本体の過放電保護が働き使用できなくなります。その場合は一度充電を行うことで復帰します。

使用方法

4. USB出力

警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

USB 5Vを電源とする直流機器の電源として使用できます。

■使用例(携帯端末の充電)

- ①電源キーを押して残量インジケータが点灯することを確認します。USB5V出力がONとなります。
- ②携帯端末付属または市販の充電ケーブルを本体のUSB出力端子に差し込み、本体と携帯端末を接続すると充電が開始します。
※2つのUSB出力端子を使用することで、携帯端末2台を同時に充電することができます。
- ③充電終了後、電源キーを押して残量インジケータの消灯(USB5V出力OFF)を確認後、本体と携帯端末の接続を解除して、本体のダストカバーをしっかりと閉じてください。

接続しても充電が開始されない場合

接続しても充電が開始されない場合は、端子部分に接触不良が無いか確認してください。また、接続する出力端子を変更してみてください。

※端子部分に接触不良が無い場合は、出力電流が仕様を超えている可能性があります。

※完全に電池を消費し、電源が入らなくなった状態の機器には使用できない場合があります。

※使用する機器によっては充電できない場合があります。

※使用する機器によっては満充電にならない場合があります。

※携帯端末の画面にエラーが表示された場合は、ただちに使用を中止してください。

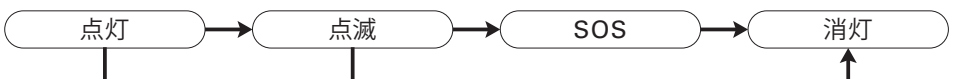
5. LEDライト

警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

- ①電源キーを長押しすると、LEDライトが点灯します。
- ②さらに電源キーを押すごとに、下記の順で発光モードが変化します。
- ③LEDライトが消灯以外のときに、電源キーを長押しするとLEDライトを消灯します。

■発光モード



1. 本体の充電

⚠ 警告/注意

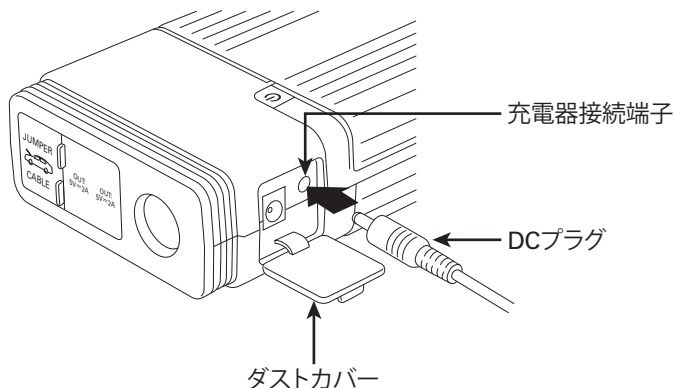
P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

■家庭用コンセントによる充電

- ①本体のダストカバーを開き、充電器接続端子に付属AC充電器のDCプラグを差し込みます。
- ②AC充電器を家庭用コンセントに差し込みます。
※必ずAC充電器と本体を接続した後コンセントに差し込んでください。
- ③本体の充電が開始され、残量インジケータが点滅します。
※充電中は全ての出力が使用できません。
- ④充電が終了すると残量インジケータが消灯します。
- ⑤充電終了後は、本体と家庭用コンセントの接続を解除して、本体のダストカバーをしっかりと閉じてください。

■車両のシガーソケットによる充電(12V車両専用)

- ①車両のエンジンが始動していることを確認します。エンジン停止状態での充電はバッテリー上がりの原因になります。
- ②本体のダストカバーを開き、充電器接続端子に付属シガー充電器のDCプラグを差し込みます。
- ③12V車両のシガーソケットにシガー充電器のシガープラグを差し込みます。
- ④本体の充電が開始され、残量インジケータが点滅します。
※充電中は全ての出力が使用できません。
- ⑤充電が終了すると残量インジケータが消灯します。
※車両側の状態により、満充電にならない場合があります。
- ⑥充電終了後は、本体と車両の接続を解除して、本体のダストカバーをしっかりと閉じてください。



2. 保管方法

⚠ 警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

本体バッテリーを長持ちさせる長期保管の方法

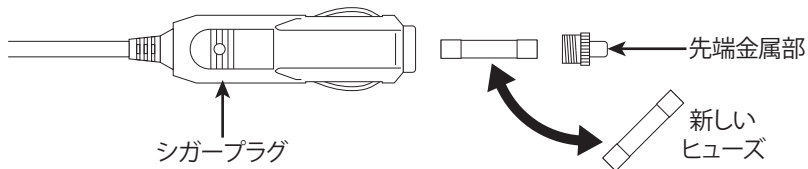
- 放電状態での長期保管はバッテリーの劣化に繋がるため、3ヶ月に1回程度の充電を推奨します。
- 長期保管時の充電は満充電にせず、残量インジケーターが3～4つ点灯の状態を保つと、本体バッテリーの劣化を最小限に抑えることができます。
- 直射日光を避け、涼しく湿気の少ない場所に保管してください。

3. OBD II ケーブル、シガー充電器のヒューズ交換

- ① シガープラグ先端の金属部を反時計回転に回して外し、内部のヒューズを取り出します。
- ② ヒューズ内の線が切れている場合は新しいヒューズと交換します。下記の表を参照し、必ず同仕様のヒューズと交換してください。

ケーブル	仕様	寸法
OBD II ケーブル	250V 2A	φ6×30mm
シガー充電器	250V 2A	φ5×20mm

- ③ シガープラグ先端の金属部を時計回転に回して取り付けます。



故障かな?という場合に

故障かな?という場合には、以下の症状、原因と処置をご参照ください。
本製品について、わからない点やご質問、故障の場合は、お買い上げの販売店または
(株)日立オートパーツ&サービスにお問い合わせください。

症 状	原因と処置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">● 本体の充電量が低下している。または過放電保護が働いている。 → 本体の充電を行ってください。(P20 参照)
LEDライトが点灯しない	<ul style="list-style-type: none">● 本体の充電量が低下している。または過放電保護が働いている。 → 本体の充電を行ってください。(P20 参照)● 電源キーを長押ししていない。 → 電源キーを長押ししてください。
ジャンプスタートができない	<ul style="list-style-type: none">● エアコンやヘッドライトなどの負荷がかかっている。 → ジャンプスタート時は本体の負荷を抑えるために、エアコンやヘッドライトなどの電装品をOFFにしてください。● 車両バッテリー電圧が13.6V以上になっている。 → 車両バッテリー電圧が高いため、ジャンプスタートはできません。● 車両バッテリーが極度に劣化している。 → 車両バッテリーが極度に劣化している場合は、ジャンプスターターケーブルコントロールボックスの緑色LEDが点灯せず、ジャンプスタートはできません。● 本製品の対応車ではない。 → 本製品の対応車は排気量4000cc以下の12Vガソリン車および、排気量3000cc以下の12Vディーゼル車となります。● 始動に必要な電流が本製品の仕様を超過している。 → 対応車両であり接続方法が正しくても、車両の状態や仕様、環境によっては放電能力が足りずにジャンプスタートできない場合があります。
USBおよびDC12V出力ができない	<ul style="list-style-type: none">● 本体と機器の接続がしっかりと行われていない。 → 端子とコネクターの接続を確認してください。● 電源キーを押していない。 → 電源キーを押して出力を行ってください。
シガー充電器で充電できない	<ul style="list-style-type: none">● シガー充電器内部のヒューズが切れている。 → P21を参照しヒューズの交換を行ってください。● 充電電圧(車両電圧)が低い。 → エンジンを始動していないと車両側電圧が低いため、充電できない場合があります。

お問い合わせ先

本製品について、わからない点やご質問、故障の場合は、お買い上げの販売店または(株)日立オートパーツ&サービスにお問い合わせください。

株式会社 日立オートパーツ&サービス

本社：〒135-0062 東京都江東区東雲2-10-14

カスタマーサポートセンター TEL:03-3527-6323 FAX:03-3527-6324

■営業時間：9:00～17:30(土・日・祝日および弊社休業日を除きます)

使用後はリサイクルへ

- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで
充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
- 詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
- ホームページ： <http://www.jbrc.com>



Li-ion 32

